

# 跡地関係市町村等先進地事例研修

～返還される駐留軍用地の跡地利用の推進に向けて～

沖縄総合事務局では、11月10日(月)・11日(火)の2日間、本年度からの新しい試みとして先進地事例研修を実施し、跡地関係市町村の担当職員23名、地主会会員等12名及び沖縄県・当局職員5名の合計40名が参加しました。

当研修は、市町村職員等のまちづくりに関するスキルの向上の支援と、市町村職員等の交流を深め、相互での情報共有ができるネットワーク作りの支援を目的として、県外におけるまちづくりの取組事例を現地で学んでいただくものです。



粗画像

事前研修を受講する参加者

## 【事前研修】

現地研修を有意義なものとするため、事前に研修先のまちづくり等について学ぶ事前研修を10月22日(水)に沖縄総合事務局内会議室において開催しました。

## 【現地研修】

11月10日～11日にかけて近鉄あやめ池遊園地跡地等3か所を訪問し、開発に携わった方などからご説明をいただくなど現地研修を実施しました。

## (研修先)

○近鉄あやめ池遊園地跡地  
(奈良県奈良市)

・閉園した遊園地の跡地を住宅地等として開発し、環境に配慮した先進的なまちづくりを実施。



粗画像

近鉄あやめ池遊園地跡地

○千里ニュータウン  
(大阪府豊中市、吹田市)

・日本最初の大規模ニュータウン開発で、入居から50年を超え、まちの再生が進行。



粗画像

千里ニュータウン

○万博記念公園  
(大阪府吹田市)

・日本万国博覧会の跡地を整備した大規模公園。



粗画像

万博記念公園

## 【参加者からの声】

研修参加者からは、

・独自のアイデアを出していくための非常に良い刺激となった。

・現場を直接見ながら開発担当者から生の声を聞くことができてよかった。

・計画的に整備された緑地を見

ることで、自分の緑地に対する考え方が変わった。

・課題は共通すると思うので、沖縄においても、50年先を見据えたまちづくりの参考になると思った。

・各市町村、県、地主会という枠を越えて交流を深めることができてよかった。

といった意見がありました。

沖縄総合事務局では、今回の研修で頂いた様々なご意見をもとに研修内容の更なる充実に努め、返還される駐留軍用地跡地の有効かつ効果的な利用の推進に向けて取り組んでまいります。